

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた単元構想〈算数〉

特別研修員 算数 佐藤 矩行 (小学校教諭)

単元名 『広さを調べよう』 (第4学年) 全8時間計画
単元のねらい

面積について単位と測定の意味を理解し、面積を計算によって求めることができるようにするとともに、面積についての量感を豊かにする。

単元構想の意図

である過程では、主体的な学びを促すために陣取りゲームで獲得した広さを比べる方法を考えさせ、広さへの興味を高め、広さにおける単位の必要性に気付かせます。追究する過程では、面積が1cm²のいろいろな形に触れたり、L字型の図形を二つに切り離したり移動させたりして長方形をつかって面積を求めたりすることで、図形の一部を移動させても面積が変わらないことを理解できるようにします。つかう過程では正方形・長方形の面積の求め方を活用して直角三角形の面積を求めることで、今までの学びを深めるように構成しました。

過程

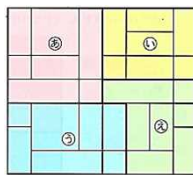
主な学習活動

1. 広さにおける単位の必要性に気付く

○陣取りゲームに取り組む。

・ゲームで獲得した陣地をいろいろな方法で比べる。

・これから学習することの見通しをもつ。



広さへの興味・関心をもたせる

○単元の学びへの動機付けとして、陣取りゲームに取り組ませることで、楽しみながら広さの比べ方について興味をもたせる。

学びの見通しをもたせる

○一番小さい正方形を数えさせることで、今まで行っていた重ねて比べる直接比較よりも、広さを比べやすいことを実感させる。

○広さを測るにはどうしたらよいか、より簡単に計算で求められないだろうかなど、これから単元を通して学習することの見通しをもたせる。

である(1)

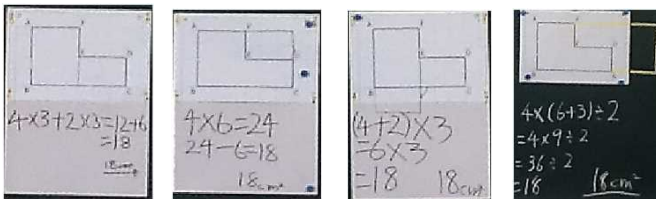
2. 面積の単位を知り、その求め方を考える

○広さの単位 (cm²) について知り、面積は1cm²が何個分あるかで表すことを理解する。



○長方形と正方形の面積を辺の長さを、使って計算によって求める。

○L字型の図形の面積を、長方形を基にして図や式を使って説明する。



○広い面積を表す単位 (m²) を知り、cm²との関係を理解する。

○より広い面積を表す単位 (a・ha・km²) を知り、それらの相互関係を理解する。

数学的な表現を用いて説明する力を養う

○いろいろな形の図形の一部を移動させ1cm²の正方形に変形させる活動を通して、等積変形について気付かせる。

○単位正方形を一つ一つ数えて面積を求めるのではなく、乗法を用いれば求めることができることに気付かせる。そこから隣り合う辺同士の積を使って面積を手際よく求められるようにする。

○様々な考え方を全体で共有する場面では、「切る」「引く」「移動する」「倍にする」の四つの考えを児童に説明させる。その際に全ての考えが長方形にして考えているという共通点に気付かせ、図形を移動させて正方形や長方形にすれば、どんな図形も面積を求めることができることを理解させる。

○より広い面積の相互関係を理解する場面では、単に数字だけを暗記させるのではなく、aやhaやkm²が一辺何mの正方形なのか、図を意識して考えさせる。

追究する(6)

3. 正方形・長方形の面積の求め方を活用する

○直角三角形の面積の求め方を図や式を使って説明する。

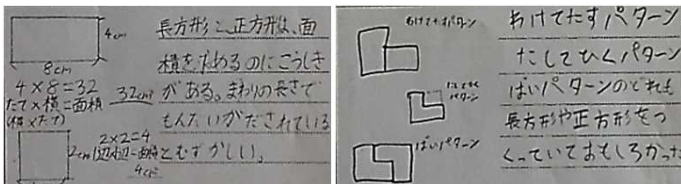


・単元全体で学習したことをレポートにまとめる。

今までの学びを実感させる

○単元を通して身に付いた等積変形や倍積変形という知識を使って、直角三角形の面積を正方形や長方形を基に考えさせることで、今まで学習してきたことの有用性を実感させる。

つかう(1)



学びの自覚を促す

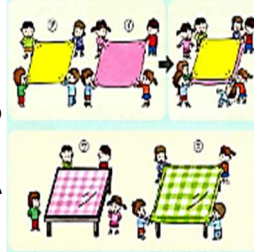
○単元全体で学習したことについて、「驚いたこと」「ためになったこと」「難しかったこと」「やってみたくらいこと」という観点を与え、レポートにまとめさせることで、本単元における学びの自覚を促す。

指導例：『広さを調べよう』（第4学年 第1時）

1 学習を把握する。

○今まで学習した広さの比べ方について思い出す。

〈問題〉㊦と㊧、㊨と㊩の広さを比べよう



S：端をそろえて重ねると㊧の方が見えるから㊧の方が広いよ。

S：同じテーブルにかけたとき、㊨は余っているから㊩の方が広い。

○グループに分かれて陣取りゲームに取り組む。

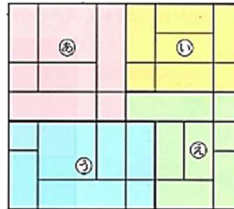
〈問題〉4人の陣取りゲームの結果を見て、広さを比べよう。

S：㊰が一番狭いのは見た目で分かる。

S：㊱以外は、はっきりと分からないな。

S：それぞれを切って重ねれば分かると思います。

S：いろいろな大きさの四角形の数に注目して比べればいいと思うな。



〈めあて〉陣取りゲームでとった広さを比べるにはどうしたらよいだろうか。

2 めあてを追究する。

○個別で問題を解決させた後に、全体でそれぞれの考えを出し合い、答えを確認する。

S：㊰と㊱を重ねると㊱がはみ出しているから、㊱の方が広い。

S：㊰と㊱の中にある同じ形の四角形を数えていき、残った四角形を比べると㊱の方が大きいことが分かります。

3 考えを深める。

○どの陣地がどれだけ広いかを比べる方法を考える。

S：一番小さい正方形の数で比べると、㊰は16個、㊱は12個、㊲は15個、㊳は13個になるので比べやすい。



4 学習をまとめ、振り返る。

〈問題〉最初に自分たちでやった陣取りゲームで誰がどれだけ広かったか比べてみよう。

T：最初にやった陣取りゲームの結果はどうでしたか？

S：一番小さい正方形の数で比べると、重ねるより楽に比べられ、他のグループの人との差も分かった。



〈まとめ〉一番小さい正方形が何個分あるかで、広さを比べると比べやすい。

○本時を通して驚いたことや難しかったこと、ためになったことやこれからやってみたいことを考える。

S：一番小さい正方形を数えると広さを比べやすかった。長さやかさと同じように広さにも単位があるのを知りたい。

指導のポイント

単元への興味・関心をもたせる

○広さについての興味・関心をもたせるために陣取りゲームに取り組ませる。ゲーム性をもたせることで児童は楽しみながら広さを比べることができる。

主体的な学びを促すために
問いを表出させる

○ゲームの結果を見た目だけではなく、どうしたら比べられるかという問い（波線部）を表出させる。

解決の見通しをもたせる

○「重ねる」や「四角形の数に注目する」など、広さを比べる方法について全体で共有して、児童それぞれが考え方の見通しをもってから個別解決させる。

よりよく解決させる

○最初に取り組んだ陣取りゲームの結果を一番小さい正方形の数で比べさせることで、重ねる方法などより比べやすいことを実感させる。

単元の見通しをもたせるために
振り返りの時間を確保する

○本時の学習の中で、驚いたことや難しかったこと、ためになったことやこれからの学習でやってみたいこと（点線部）を考えさせておき、単元の終末において、実感を伴った児童の学びの自覚につなげる。

指導例：『広さを調べよう』（第4学年 第4時）

指導のポイント

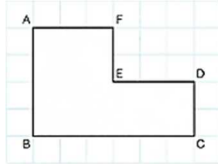
1 学習を把握する。

○長方形や正方形の面積の求め方を確認する。

S：正方形は1辺×1辺で求めました。

S：長方形は縦×横で求めたよ。

〈問題〉 次のような図形の面積を求めよう。



○全体で解決の見通しをもつ。

S：長方形が二つになるように切って、それらを足せばいいと思う。

S：大きい長方形から小さい長方形を引くやり方もあるんじゃない。

〈めあて〉 L字型の面積を求めるにはどうしたらよいか。

2 めあてを追究する。

○自分の考えを図にかき込みながら、個別で問題を解決する。

○ペアの相手に自分の考え方を図や式を使って説明する。



3 考えを深める。

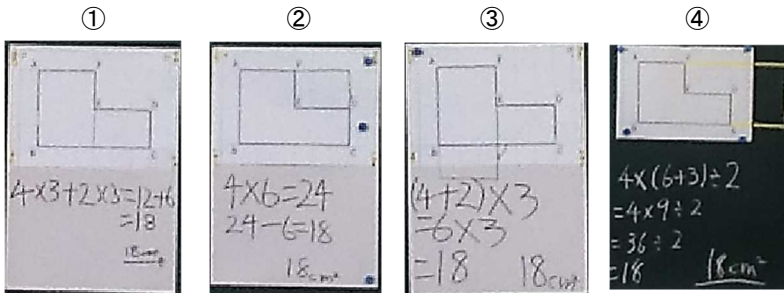
○全体で解き方を説明し合いながら、共有した考え方を比較・検討する。

S：図形を長方形二つに切って、それらを足します。…①

S：一つの大きい長方形と見立て、そこから小さい長方形を引きます。…②

S：切った長方形を移動させて一つの長方形にして考えます。…③

S：図形を二つ合わせて長方形をつくります。求めたいのは一つ分なので、最後に2で割ります。…④



T：いろいろな考え方が出ました。それではこれらの考え方の共通点は何ですか？

S：どの考え方も、正方形や長方形を基にしています。

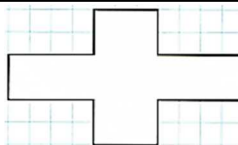
S：長方形や正方形にすれば、面積を求めることができます。

4 学習をまとめ、振り返る。

〈まとめ〉 長方形や正方形の面積の求め方を使えば、複雑な形の面積を求めることができる。

○学習した内容を生かして、適用問題に取り組む。

〈適用問題〉 次のような図形の面積を求めよう



S：複雑な形でも、切ったり移動させたりして長方形をつくれれば面積を求めることができるな。

主体的な学びを促すために
問いを表出させる

○長方形や正方形の面積の求め方を確認させることで、複雑な図形でも長方形や正方形をつくることのできるのではないかと問い（波線部）を表出させる。

互いの考えを説明し合い
新たな気づきを促す

○自力解決で、まず自分の考えをもたせ、それをペアの相手と説明し合うことで理解を深め、新たな考え方にも気付かせる。

考えを深めるために
比較・検討させる

○全体で確認するときは式をかく児童とそれを説明する児童に分けることで、より多くの児童が発言する機会を増やししながら、考え方を比較・検討させる。

児童の言葉を使ってまとめる


○多様な考え方の共通点を児童に気付かせ、児童との対話の中で生まれた言葉をつなぎながら、めあてに対応したまとめにする。


学びの自覚を促すために
適用問題で振り返らせる

○本時の学習内容を使って解ける適用問題に取り組ませることで学びの自覚（点線部）を促す。答え合わせでもその考え方を児童に説明させながら行う。

指導例：『広さを調べよう』（第4学年 第8時）

1 学習を把握する。

○長方形や正方形、 の面積の求め方を振り返る。

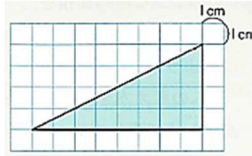
T：  の面積はどのように求めたかな。

S：二つの長方形に切ったり、移動させたりして求めました。

T：なぜ切ったり、移動させたりしたの？

S：長方形をつくるためです。

〈問題〉 次の直角三角形の面積を求めよう。



○全体で解決の見通しをもつ。

T：どのように考えればよいか？

S：切って移動させて、正方形や長方形をつくれれば求められると思う。

S：2倍にして長方形をつくるのはどうかな。

〈めあて〉 直角三角形を正方形や長方形にして面積を求めることができるのだろうか。

2 めあてを追究し、考えを深める。

○自分の考えを図にかき込みながら、個別で問題を解決する。

○ペアの相手に自分の考え方を図や式を使って説明する。



○全体で解き方を説明し合いながら、共有した考え方を比較・検討する。

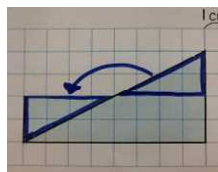
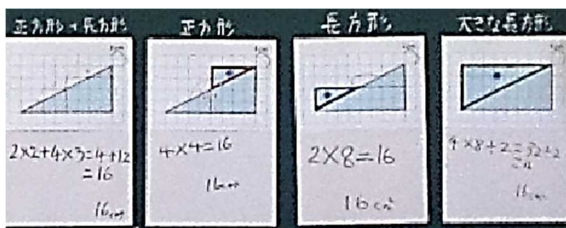
S：図形を切って移動させることで正方形と長方形をつくります。…①

S：図形を切って移動させることで一つの大きな正方形をつくります。…②

S：図形を切って移動させることで一つの大きな長方形をつくります。…③

S：図形を二つ合わせて大きな長方形をつくります。求めたい直角三角形はその一つ分なので、最後に2で割ります。…④

① ② ③ ④



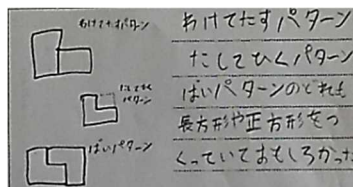
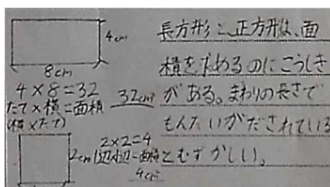
T：みんなの考え方の共通点は何ですか？

S：どれも正方形や長方形にしてから面積を求めています。

3 学習をまとめ、振り返る。


〈まとめ〉 直角三角形の面積は、正方形や長方形を基にして求めることができる。

○単元で学習したことをレポートにまとめる。



指導のポイント

既習事項を本時につなげ
問いを表出させる

○授業の最初に  の面積の求め方を振り返ることで、複雑な図形でも長方形をつくれれば面積を求めることができたことを想起させる。そこからめあての基になる直角三角形も長方形や正方形にすれば面積を求められるのではないかと問い（波線部）を表出させる。

多様な考えを把握して
取り上げる順序を工夫する

○誰がどの考え方をしているのかを、机間支援しながら把握する。多様な考えが出る中で、内容を踏まえて、意図的に指名して比較・検討させる。

イメージしやすいように
図形移動を視覚で捉えさせる

○図形の移動がイメージしにくい児童のために、実際に切って移動させる活動を取り入れたり、視覚で分かるように色分けをしたりする。

本単元での学びの自覚を促すために
単元全体を振り返らせる

○であう場面での振り返りを参考に、単元全体を通して驚いたことや難しかったこと、ためになったことやこれからの学習でやってみたいことを考えさせ、本単元での学びの自覚を促す。

算数科学習指導案

平成30年10月 第4学年 指導者 佐藤 矩行

I 単元名 「広さを調べよう」

II 学習指導要領上の位置付け

第4学年 B図形 B(4) 平面図形の面積

(4) 平面図形の面積に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 面積の単位（平方センチメートル（ cm^2 ）、平方メートル（ m^2 ）、平方キロメートル（ km^2 ））について知ること。

(イ) 正方形及び長方形の面積の計算による求め方について理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 面積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の面積の求め方を考えるとともに、面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察すること。

III 目標

ア、イは「II 学習指導要領上の位置付け」に同じ。

ウ（学びに向かう力、人間性等）

- ・面積を数値化して表すことよさや、計算によって求められることの便利さに気付き、身の回りの面積を求めるなど生活に生かしている。

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開（1/8 であう）

1 ねらい 陣取りゲームに取り組むことを通して、いろいろな方法で広さの比べ方を考えられるようにする。

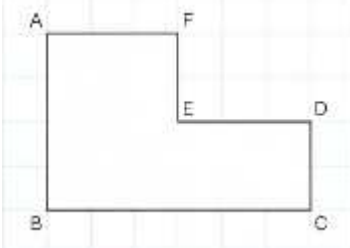
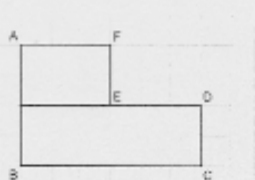

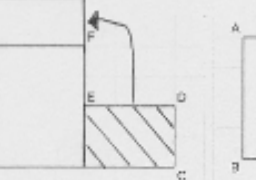
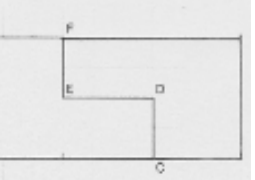

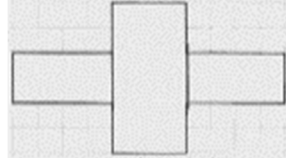

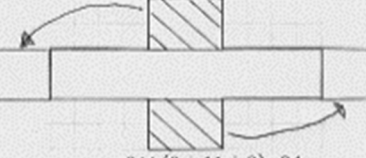
2 展開

学習活動（分） ○：留意点 点線囲：評価 ☆：まとめ（意識）	
<p>1 学習を把握する。（20分）</p> <p>〈問題1〉㉗と㉘、㉙と㉚の広さを比べよう。 ○㉗と㉘の比較の仕方と、㉙と㉚の比較の仕方の違いを問い掛ける。</p> <p>〈活動〉陣取りゲームをやってみよう。 ○ゲームのルールを確認してから始めさせ、終わったところから広さに順番を付けるよう促す。</p> <p>〈問題2〉4人の陣取りゲームの結果を見て、広さを比べよう。 (問い) ㉛が一番狭いと思うけど、それ以外は迷うな。 それぞれを切って、重ねれば分かるような気がする。</p> <p>〈めあて〉陣取りゲームでとった広さを比べるにはどうしたらよいだろうか。</p>	 
<p>2 めあてを追究する。（10分）</p> <p>○自力解決では、陣地ごとにハサミで切らせて比較する活動を設定する。 ○広さの比べ方について全体で説明し、考え方を共有する。 (子供の意識) 重ねて余った部分がある方が大きいな。でも、いつも重ねるのは面倒くさいな。</p>	
<p>3 考えを深める。（10分）</p> <p>○どの陣地がどれだけ広いかわかる方法を考える活動を設定する。 ○4種類の大きさのマスがあることに触れ、それぞれの広さが一番小さい正方形の何個分に当たるかを問い掛ける。</p> <p>--- 一番小さい正方形が何個分あるかで面積の比べ方を考えようとしている。 <発表(1)></p>	
<p>4 学習をまとめる。（2分）</p> <p>○本時で学習して分かったことを児童の言葉をつなげてまとめる。</p> <p>〈まとめ〉一番小さい正方形が何個分あるかで、広さを比べることができる。</p> <p>☆一番小さい正方形を数えると、広さを比べやすかった。</p>	
<p>5 学習を振り返る。（3分）</p> <p>〈問題3〉最初に自分たちでやった陣取りゲームは誰がどれだけ広いかわかるかを比べてみよう。 ○一番小さい正方形の数に注目して、最初に行った陣取りゲームを振り返る。 ○本時を通して驚いたことや難しかったこと、ためになったことやこれからやってみたいことを振り返り用紙に記述させる。</p>	

V 本時の展開 (4/8 追究する)




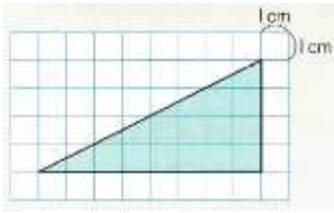
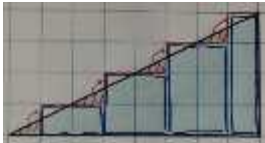

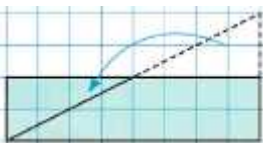

1 ねらい 既習の長方形・正方形の面積の求め方を活用することを通して、長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を考えられるようにする。

2 展開

学習活動 (分)		○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : まとめ (意識)
<p>1 学習を把握する。(5分)</p> <p>〈問題〉右のような図形の面積を求めよう。</p> <p>○長方形と正方形の面積の求め方をを想起させ、長方形や正方形にすれば求められることを全体で共有させる。</p> <p>(問い) 長方形や正方形の求め方を利用すれば求められるのかな。</p>				
<p>〈めあて〉 L字型の面積を求めるにはどうしたらよいだろうか。</p>				
<p>2 めあてを追究する。(7分)</p> <p>○面積の求め方を個人で考える活動を設定する。</p> <p>○机間支援をしながら、どんなパターンの考えが出ているかを確認しておく。</p> <p>○ペアの相手に自分の考え方を図や式を使って説明させる。</p>				
<p>3 考えを深める。(20分)</p> <p>○それぞれの解き方を式で紹介し、どのように考えたかを全体で確認しながら共有させていく。</p> <p>○足すパターン、引くパターン、移動するパターン、2倍にするパターンを意図的な指名により取り上げる。</p>				
<p>【解答例】</p>				
<p>【足す】</p>  <p>$2 \times 2 + 4 \times 2 = 18$</p>	<p>【引く】</p>  <p>$4 \times 6 - 2 \times 2 = 18$</p>	<p>【移動】</p>  <p>$(2 + 4) \times 2 = 18$</p>	<p>【2倍】</p>  <p>$4 \times (2 + 3) \div 2 = 18$</p>	
<p>図形を二つに切り離したり、移動させたりして長方形を作り、面積の求め方を図や式を使って説明している。</p> <p style="text-align: right;">〈発表・ノート (2)〉</p>				
<p>4 学習をまとめる。(3分)</p> <p>○本時で学習して分かったことを児童の言葉をつなげてまとめる。</p>		<p>〈まとめ〉複雑な形の面積でも、長方形や正方形に直せば求めることができる。</p> <p>☆複雑な形でも、切ったり移動させたりして長方形をつくれれば面積を求めることができる。</p>		
<p>5 学習を振り返る。(10分)</p> <p>〈適用問題〉次のような図形の面積を求めよう。</p> <p>○先の問題で扱ったパターンのうち、どのパターンが解きやすいかを考えて、適用問題に取り組むよう促す。</p>				
<p>【解答例】</p>				
 <p>$2 \times 4 \times 2 + 6 \times 3 = 34$</p>	 <p>$6 \times 11 - 2 \times 2 \times 4 = 34$</p>	 <p>$2 \times (3 + 11 + 3) = 34$</p>		
<p>○本時の学習を通して、驚いたことや難しかったこと、ためになったことやこれからやってみたいことをノートに記述させる。</p>				

V 本時の展開 (8/8 つかう)

- 1 ねらい 直角三角形の面積の求め方を考えることを通して、正方形・長方形の面積の求め方を活用できるようにする。
- 2 展開

学習活動 (分) ○ : 留意点 点線囲 : 評価 ☆ : まとめ (意識)
<p>1 学習を把握する。(10分)</p> <p>○長方形や正方形、 の面積の求め方など、今回の単元で学習した内容を想起させる。 (子供の意識) 長方形の面積は縦×横、正方形の面積は一辺×一辺で求めたな。長方形や正方形の面積の求め方を使えば、 の面積も分かったぞ。</p> <p>○今までに学習してきた図形 (三角形や平行四辺形など) を想起させ、正方形や長方形以外の面積も求められるか問い掛ける。</p> <p>〈問題〉 次の直角三角形の面積を求めよう。</p> <p>○どのように求めればよいか、全体で話し合う場を設定する。</p> <p>○ の面積は正方形や長方形を基に考えたことを想起させ、直角三角形をどのようにすれば求められるか問い掛ける。</p> <p>(問い) 直角三角形も正方形や長方形にできるのかな？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈めあて〉 直角三角形を正方形や長方形にして面積を求めることができるのだろうか。</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>
<p>2 めあてを追究する。(10分)</p> <p>○自力解決の時間を確保する。</p> <p>○机間支援をしながら、どんなパターンの考えが出ているかを確認しておく。</p> <p>○ペアの相手に自分の考え方を図や式を使って説明させる。</p>
<p>3 考えを深める。(15分)</p> <p>○それぞれの解き方をまずは式で紹介し、どのように考えたかを全体で検討していく。</p> <p>○図形の移動がイメージしにくい児童のために実際に切って移動させる活動を取り入れたり、視覚で分かるように色分けをしたりする。</p> <p>【解答例】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="width: 20%;"> <p>【正方形+長方形】</p>  <p>$1 \times 2 + 2 \times 2 + 3 \times 2 + 4 \times 1$</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>【正方形】</p>  <p>4×4</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>【長方形】</p>  <p>2×8</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>【2倍】</p>  <p>$4 \times 8 \div 2$</p> </div> </div> <p>○それぞれの考え方の共通点を問い掛ける。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>直角三角形を切って移動させたり、増やしたりして正方形や長方形を作り、図や式を関連付けて面積の求め方を説明している。 〈発表・ノート(2)〉</p> </div>
<p>4 学習をまとめる。(3分)</p> <p>○本時で学習して分かったことを児童の言葉をつなげてまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈まとめ〉 直角三角形の面積も、正方形や長方形を基にして求めることができる。</p> </div> <p>☆正方形や長方形を基にして考えれば、直角三角形の面積を求めることができた。</p>
<p>5 学習を振り返る。(7分)</p> <p>○単元全体で学習したこと (広さの表し方、正方形と長方形の面積・複合図形の面積・大きい面積の単位など) を、驚いたこと・ためになったこと・難しかったこと・やってみたいことに注目してレポートに記述するように促す。</p>

IV 指導計画 算数科 第4学年 単元名「広さを調べよう」(全8時間計画)

目標	<p>平面図形の面積に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア (知識及び技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> 面積の単位 (平方センチメートル (cm²)、平方メートル (m²)、平方キロメートル (km²) について知ること。 正方形及び長方形の面積の計算による求め方について理解すること。 <p>イ (思考力、判断力、表現力等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 面積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の面積の求め方を考えるとともに、面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察すること。 <p>ウ (学びに向かう力、人間性等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 面積を数値化して表すことよさや、計算によって求められることの便利さに気付き、身の回りの面積を求めるなど生活に生かしている。 		
評価規準	<p>(1) 面積を数値化して表すことよさや、計算によって求められることの便利さに気付き、身の回りの面積を求めるなど生活に生かそうとする。</p> <p>(2) 面積について、量や乗法の学習を基に、単位の何個分で数値化して表すことや、辺の長さを用いて計算で求められることを考え、捉えることができる。</p> <p>(3) 長方形、正方形の面積を、公式を用いて求めることができる。</p> <p>(4) 面積について、単位と測定の意味や、長方形や正方形の面積は計算によって求められることやその求め方を理解し、面積についての量感を身に付ける。</p>		
過程	時間	○ねらい ☐めあて	☆まとめ (意識) ◇評価項目 <方法 (観点)>
であう	1	<p>○陣取りゲームに取り組むことを通して、いろいろな方法で広さの比べ方を考えられるようにする。</p> <p>☐陣取りゲームでとった広さを比べるにはどうしたらよいだろうか。</p>	<p>☆一番小さい正方形を数えると、広さを比べやすかった。</p> <p>◇一番小さい正方形が何個分あるかで面積の比べ方を考えようとしている。 <発表 (1)></p>
追究する	1	<p>○広さにも単位が必要であるという考えを、陣取りゲームの結果から引き出すことを通して、面積の意味や面積の単位であるcm²を理解できるようにする。</p> <p>☐広さはどのように表せばよいのだろうか。</p>	<p>☆広さのことを面積と言い、その面積は1cm²が何個分あるかで表せることが分かった。</p> <p>◇広さである面積は1辺が1cmの正方形が何個分あるかで表すことを理解している。 <発表・ノート (4)></p>
	1	<p>○長方形、正方形の面積を計算で求める方法を理解することを通して、面積を求める公式をつくり、それを使って面積を求められるようにする。</p> <p>☐長方形・正方形の面積はどのように求めればよいだろうか。</p>	<p>☆長方形は(縦)×(横)、正方形は(1辺)×(1辺)で面積を求められることが分かった。</p> <p>◇長方形、正方形の面積を辺の長さを使って計算によって求めることができる。 <ノート (3)></p>
	1	<p>○既習の長方形・正方形の面積の求め方を活用することを通して、長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を考えられるようにする。</p> <p>☐L字型の面積を求めるにはどうしたらよいだろうか。</p>	<p>☆複雑な形でも、切ったり移動させたりして長方形をつくれば面積を求めることができる。</p> <p>◇図形を二つに切り離したり、移動させたりして長方形を作り、面積の求め方を図や式を使って説明している。 <発表・ノート (2)></p>
	1	<p>○教室など広い面積を表す単位の必要性を感じることを通して、1m²の大きさやm²とcm²の関係を理解できるようにする。</p> <p>☐教室などの広い面積を表すにはどうしたらよいだろうか。</p>	<p>☆教室など広い面積はm²を使うと分かりやすいことや、1m²=10000cm²であることが分かった。</p> <p>◇広い面積は1辺が1mの正方形が何個分あるかで表すことや(1m²)=(100cm)×(100cm)=(10000cm²)であることを理解している。 <発表・ノート (4)></p>
	2	<p>○校庭や自分たちが住む町の広さを確認することを通して、a、ha、km²の単位や面積の単位の相互関係を理解できるようにする。</p> <p>☐畑や町などの広い面積を表すにはどうしたらよいだろうか。</p>	<p>☆広さに応じてa、ha、km²を使い分けると、広さを分かりやすく表すことができた。</p> <p>◇面積の単位a、ha、km²を、1辺の長さに注目しながら、その相互関係を理解している。 <発表・ノート (4)></p>
つかう	1	<p>○直角三角形の面積の求め方を考えることを通して、正方形・長方形の面積の求め方を活用できるようにする。</p> <p>☐直角三角形を正方形や長方形にして面積を求めることができるのだろうか。</p>	<p>☆正方形や長方形を基にして考えれば、直角三角形の面積を求めることができた。</p> <p>◇直角三角形を切って移動させたり、増やしたりして正方形や長方形を作り、図や式を関連付けて面積の求め方を説明している。 <発表・ノート (2)></p>